

ところ会 11 月行事案内

江戸城三十六見附を歩くーその3（新橋～九段下）

江戸には三十六の見附があります。今回は前回終わった新橋から九段下まで、ここで 12 の見附を回ります。

記

- 日 時：平成 29 年 11 月 2 日（木）
8:30 池袋行きホーム前方に集合して下さい。
- 見学場所及び時間：コース全長約 8 km
所沢駅(8:35)急行...池袋で山手線乗り換え...JR 新橋駅(9:44)
⇒山下門⇒数寄屋橋門⇒南町奉行所跡⇒鍛冶橋門⇒北町奉行所跡
⇒呉服橋⇒一石橋⇒常盤橋門⇒神田橋門⇒一ツ橋門⇒平川門
⇒竹橋門⇒雉子橋門⇒清水門⇒田安門
⇒東西線九段下駅.....所沢（予定時間 16:30 頃）
- 昼食：人気の南インド料理店 ダバインディア
- 交通費（所沢から）：約 1000 円



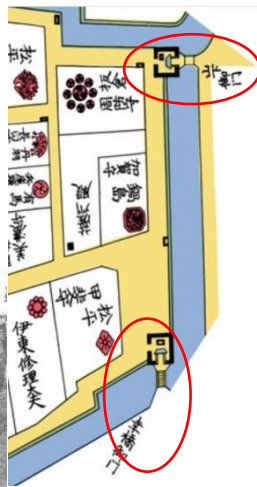
㊦ 北詰橋門 ㊧ 西の丸玄関門(二重橋) ㊨ 中之御門 ㊩ 中雀門

今回は新橋からのスタートです。

前回の幸橋門から山手線に沿って進みます、この山手線と高速道路のあるところが外堀のあった所です。

新橋から続く赤煉瓦造りの連続アーチの高架は、日本最長で最大規模の明治時代の煉瓦造りの構造物です。

<⑪山下門>この門は熊本の細川忠利が寛永13年に建てたもので江戸城最小の門です。



帝国ホテルのそばの

ガードあたりが山下門のあった場所です。現在、遺構も表示版もありませんが、ガードは「山下橋架道橋」と云います。

山手線と高速道路の間には細い道があり、急坂になって地面が下がっています。これが、かつての堀跡ではないかと言われています。

泰明小学校：1878年（明治11年）創立。関東大震災によって消失した校舎は1929年（昭和4年）に再建されました。東京都選定歴史的建造物及び経済産業省近代化産業遺産に指定されています。フランス門と呼ばれる鉄門は南フランスの貴族の屋敷で使われていた門だそうです。

<⑫数寄屋橋門>数寄屋橋公園に「君の名は」で有名な数寄屋橋の記念碑があります。しかし、本来の数寄屋橋は数寄屋橋交番のあたりからマリオン側に架かっておりその先に大きな枡形門があり、門内には**南町奉行所**がありました。

現在の有楽町マルイの向いに奉行所跡があります。エスカレーターで地下に降りると、ここの再開発に伴う遺跡発掘で発見された遺物が展示してあります。



有楽齋（うらくさい）屋敷跡

織田長益は信長の弟で、後に徳川家康に茶人として仕え、有楽齋と名乗り現在の有楽町に屋敷地がありました。また、屋敷跡を有楽ヶ原と呼んだことから明治5年に有楽町と名付けられました。また、茶人である有楽齋の数寄屋（茶室）がそばにあったので数寄屋橋と名付けられたと言われています。

ただし、江戸後期に編纂された「御府内備考」では数寄屋橋の由来は数寄屋坊主の役宅があったからとされています。



<⑬鍛冶橋門>鍛冶町に出る御門なので鍛冶橋門と名付けられました。交差点に説明板が立っているのみですが、この先のパシフィックセンチュリープレイスの建設の際に外堀の石垣の土台部分が170mに渡って見つかっています。その際に出土した石垣は小石川後樂園の築地塀に使われています。



銀座の地は以前、前島と呼ばれ江戸湾に突き出た岬でした。一方で、日比谷、大手町あたりは海で、これを家康が埋め立て整備したもので、碁盤の目の道路は江戸時代に作られたものです。よ〜く見ると銀座のほうが少し高いのが分かるかも知れません。

千葉定吉道場跡 千葉定吉は北辰一刀流創始者の千葉周作の弟。千葉周作の道場と区別するため「桶町千葉」あるいは「小千葉」と呼ばれました。

坂本竜馬も定吉の門に入り北辰一刀流長刀兵法の目録を伝授されました。

昼食 南インド料理店 ダバインディア

人気店です。予約が取れないので開店の11:15に店の前で並びます。

- ・本日のカレー（3種のカレーの内一つ）…………… 850円
- ・三色カレー（本日のカレー3種）……………1,050円
- ・ランチミールス（本日のカレー3種、スープ、ライス他）1,250円

＜⑭呉服橋門＞幕府呉服御用の後藤縫殿介（ぬいのすけ）の屋敷があったのでこの名がついたといえます。呉服橋の説明板がありますが、その位置がよく分かりません。皆さんも付属地図の「江戸切絵図」と迅速測図を見比べて考えて下さい。



北町奉行所：呉服橋の門内に北町奉行所があり、丸の内トラストタワー開発の際に北町奉行所の遺構が発見されました。一部、石垣も復元されています。

道三堀：家康は最初に物資を江戸城に入れるため道三濠を築き、日本橋川と結び隅田川からの物資を和田倉門に隣接した辰ノ口の堀留から搬入しました。今は埋め立てられてありません。

一石橋：金座（日銀）御用の後藤庄三郎と呉服橋の両後藤家（五斗）を合わせて一石から名付けられた。ここに、迷子しらせ石標があります。正面に「まよひ子のしるべ」、左側に「たづぬる方」、右側に「しらする方」と刻まれています。両側に窪みがあり、左側に迷子や尋ね人の特徴を書いた紙を貼り、心当たりがある人はその旨を書いて右側の窪みに貼りました。

＜⑮常盤橋門＞日銀は昔の金座で、その前に常盤橋門があります。外郭の正面であることから大手口と呼ばれ、当時江戸では最大の橋で大橋と呼ばれましたが、その後常盤橋と改名しました。ただ、盤には皿の文字が使われ割れるので縁起が悪いということで橋には磐の字が使われています。

きちんと左右に櫓台が残っている貴重な江戸城外の遺構です。しかし、櫓台は修理工事中で現在は見るできません。



常磐橋は、文明開化期に築造された石橋群の中で唯一現存するもので明治10(1877)年に建造されましたが、老朽化が激しく、東日本大震災より大きく変形し落橋の危険があるため、現在修理工事を行っています。



＜⑩神田橋門＞神田橋門は、将軍が上野・寛永寺に参拝するための御成道でもあったので、非常に警備が厳重であったといえます。また、日光御成道の起点として要所でした。日光御成道は幸手で日光街道に合流します。



現代の神田橋は櫓台などの遺構はありませんが、江戸時代の石垣らしきものが橋の下にあります。

＜⑪一ツ橋門＞一ツ橋のたもとは当時の櫓台らしき石垣が積まれています。一ツ橋は、家康が江戸に入ったとき、平川に丸木の一本橋が架かっていたことから、名付けられたそうです。



写真(修正されている)は右が一ツ橋門の内側、平川門からの撮影。

神田橋門から一ツ橋門の間が全て一橋家の敷地で、現在工事中で見えませんが「一橋徳川家屋敷」跡の石碑があります。



一橋家は田安家、清水家と共に徳川御三卿の一つで、8代将軍吉宗の四男宗尹(むねただ)が一ツ橋門内に邸を与えられ、一家を起しました。御三家に次ぐ家格で11代将軍家斉、15代将軍慶喜は一橋家から出ています。

＜⑱平川門＞平川門は江戸城三ノ丸の正門です。旧平川の流路と下平川村があったことで名付けられました。御三卿の登城口であり、江戸城大奥の通用門から御局御門とも呼ばれていました。閉門の刻限に遅れた春日局が朝まで門外ですごしたという逸話があります。

また、江戸城の鬼門にあたり不浄門とも呼ばれ、城内での罪人・遺体・病人・下肥をこの門から送り出しました。平川門内の渡櫓門の右手にある帯曲輪に通じる高麗門が不浄門です。この先は竹橋門に延びている帯曲輪につながっています。また、平川濠と天神濠に挟まれた通路はコの字に折れ曲がり、複雑な構造になっており、これも戦略的な意味があるそうです。



平川門は皇居東御苑の出入り口でもあります。平川橋の擬宝珠は江戸時代のもので工事を請け負った棟梁の名前が刻まれています。

＜⑲竹橋門＞竹橋の名前は竹を編んで作られた橋が架かっていたことが起こりとされています。竹橋を渡った先の右側の石垣の上に渡櫓がありました。

現在は高い塀で塞がっていますが平川御門から繋がっている帯曲輪を見てください。



＜⑩雉子橋門＞家康が朝鮮の来聘使を饗応するために雉子を囲った鳥小屋の所在から名付けられました。

雉子橋を渡ると広小路になっており、前面は清水堀、左に雉子橋門があった。なお、江戸城の雉子橋門は現在の



雉子橋より 100m 位西側にあったということです。住友商事の地下駐車場の入口に石垣があるのですが、雉子橋門の櫓台跡ではないようです。

常盤橋、神田橋、一ツ橋と日本橋川（旧平川）の外濠の城門はここで終わります。堀はこの先の堀留橋までありましたが、明治になって掘り返され小石川門で神田川と合流し、運河として利用されています。



＜⑪清水門＞清水門は田安門、桜田門と並んで重要文化財です。門名は中世この地にあった清水寺に由来します。門内に九代徳川家重の次男が清水家を興し御三卿の一つとなりました。

渡櫓門を抜けると、上り階段が目の前に広がります。こちらは雁木(がんぎ)坂、江戸時代の姿のままのこの階段は雁が行列を作って飛ぶ姿に似ているので、この名がついたと言われています。敵に攻め入られても容易に駆け上がれないよう、一段ずつの段差が高く、不揃いに作られおり、敷き詰められた碎石も歩きにくさを増しています。



雁木坂を登った所で一休みしましょう。

＜⑪田安門＞田安門は北の丸への出入り口です。門内には田安台とあって、はじめは百姓地で、田安大明神があったので田安門となったといわれています。田安台は江戸城造営後には北の丸と称し、代官屋敷や大奥に仕えた女性の隠遁所となりました。有名な千姫や春日局、家康の側室で水戸頼房の准母*英勝院の屋敷などもこの内にありました。享保15年、八代将軍吉宗の第二子宗武は、ここに一家を創立して**田安家**を興しました。



田安門は江戸城創建時に遡る現存唯一の枳形城門で、高い価値と風格を有しており、**重要文化財**となっています。

明治後期に門前の九段坂を掘り下げたため、田安門に向かう土橋が平坦から登り坂となっています。

※准母：水戸藩の初代藩主水戸頼房は家康十一男で母はお万の方であるが、家康の命により、実子市姫を亡くした英勝院（お梶の方）の養子となった。このように母に擬された女性の称号。

帰路

東西線九段下駅～

所沢帰着 16:30 頃

次回（来年）は第4回目で江戸城三十六見附の最終回です。田安門から千鳥ヶ淵を通して半蔵門までの内堀は割愛し、半蔵門から江戸城本丸まで行きます。